

湘南西部病院協会連絡協議会における意見交換概要

1 経緯

平成 29 年 8 月 4 日付厚生労働省医政局長通知において、公的医療機関等は地域医療構想達成に向けた将来の方向性を示すための「公的医療機関等 2025 プラン」を策定したうえで、当該プランを地域医療構想調整会議に提示することとされた。

また、本県においては、この通知に基づき公的医療機関等にプランの作成を依頼したうえで、このプランに基づき、公的医療機関等の担う役割について各地域で議論していくこととし、地域ごとのこれまでの議論の状況に応じて構想区域ごとに区域内の全病院が参加する意見交換の場（ワーキンググループ等）を設けることとなった。

湘南西部地域においては、他地域と比較して情報共有等が進んでいる状況から、新たなワーキンググループを設置するのではなく、湘南西部病院協会主催の連絡協議会において情報共有及び意見交換を行うこととした。

2 湘南西部病院協会連絡協議会の開催概要

開催日時：平成 30 年 6 月 5 日（火） 19：30～21：00

会 場：平塚共済病院研修棟 6 階会議室

参加病院：平塚共済病院、平塚市民病院、鶴巻温泉病院、済生会湘南平塚病院、神奈川病院、東海大学医学部付属病院、東海大学医学部付属大磯病院、研水会高根台病院、平塚十全病院、ふれあい平塚ホスピタル、伊勢原協同病院、秦野赤十字病院、八木病院（13 病院）

3 地域医療構想等に係る意見交換

(1) 公的医療機関等 2025 プランについて

- ・湘南西部構想区域の 7 つの公的医療機関等（平塚共済病院、済生会湘南平塚病院、平塚市民病院、秦野赤十字病院、伊勢原協同病院、東海大学医学部付属病院）から提出された公的医療機関等 2025 プランについて、各病院のプラン概要及び報告状況一覧表を配布し、概要説明を行った。
- ・各医療機関の作成した 2025 プランについては、今後、第 1 回湘南西部地区保健医療福祉推進会議においても共有していくことについて了承を得た。

(2) 急性期慢性期病院・介護・在宅をつなぐシステム構築について

- ・二次医療圏内で円滑な患者の流れを作るため、地域において病院から介護/在宅まで含めた情報共有を行うため、急性期病院からの転院を支援するネットワークシステムを構築することについて議論され、医療介護確保総合基金を活用して実施する事業のアイデア募集に提案していくこととなった。